

地域が抱える様々な課題の解決と地域での低炭素型モビリティの導入を同時に進められるグリーンスローモビリティの地域での活用に向けて、地方自治体を対象に実証調査地域を募集したところ13地域から応募があり、審査の結果、以下の5地域を選定し実証調査を行った。

提案者	事業名称	実証期間	生活/観光交通の別	車種
福島県 いわき市	被災復興地域の経済循環促進に向けた地域交通イノベーション実証事業【被災地中心市街地での観光客向け定期周遊モビリティ】	10月30日 ～11月12日	観光交通	eCOM8
三重県 東員町	高齢化が進む住宅団地で共助によるモビリティサービスの実現【名古屋圏ニュータウンでの住民向けデマンド型ラストワンマイルモビリティ】	11月26日 ～12月9日	生活交通	ゴルフカー
岡山県 備前市	鶴海お出かけちょい乗りカート運行事業【福祉と連携した中山間高齢者向けデマンド型ラストワンマイルモビリティ】	10月29日 ～11月10日	生活交通	ゴルフカー
広島県 福山市	しまち（潮待ち）モビリティ実証事業～国内随一の近世港町「鞆の浦」の暮らしとおもてなしをつむぐ～【住民の暮らし、観光客のおもてなし、離島のお出かけモビリティ】	11月16日 ～11月29日	生活交通 観光交通	ゴルフカー
熊本県 天草市	低炭素型モビリティを活用した世界遺産と住環境の保全支援事業【世界遺産集落で住民生活と共存する住民・観光向けモビリティ】	12月11日 ～12月24日	観光交通	ゴルフカー

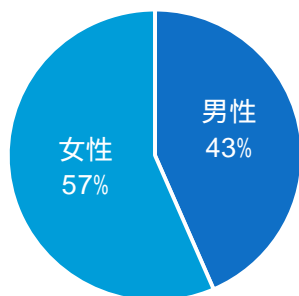
調査結果概要 まとめ (グリスロの活用適性が高い地域)

地域課題	地域特性等		機能・導入効果	発揮される優位性とその対象					適性が高い場面						
				優位性		対象者			地域区分			対象交通			
				Gre en	Sl ow	Saf ety	Sm all	Ope n	利用者	運転者	沿線地域	都市部	ニータウン	中山間地	低密市街地
交通手段確保	公共交通サービスが十分行き届いていない地域	道路が狭小で一般車両の進入が困難な地域	<ul style="list-style-type: none"> 公共交通空白地を解消 ラストワンマイルの移動手段を確保 												
		需要低密で公共交通の確保維持が困難な地域 ・交通事業者単独での対応困難 ・地域主体の対応困難(高齢化)	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民が主体となった運営がしやすい移動手段 運転がシンプルで安全性が高い 構造がシンプルなため故障が少ない 												
	短距離、ちょい乗りの移動手段が望まれる地域		<ul style="list-style-type: none"> きめ細かな路線・乗降場所の設定により歩行を支援、地域内回遊を向上 												
	ガソリンスタンドのない地域		<ul style="list-style-type: none"> 家庭内電源で充電可能、場所を選ばず導入可能 												
福祉対策	高齢化が進展する地域	足腰の弱い高齢者の生活交通が必要な地域	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者が利用しやすい移動手段 乗降がしやすい きめ細かなサービスの提供可 												
		高齢者の福祉対策の充実が必要な地域	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の健康増進、介護予防に貢献 外出機会・交流機会を創出 運転者等の運営関与で活動機会を創出 												
地域活力維持	地域コミュニティの維持・活性化が望まれる地域		<ul style="list-style-type: none"> 車内での乗客同士、乗客と車外の人々とのコミュニケーションを誘発 イベント時の移動、回遊を支援 												
観光振興	観光振興が望まれる地域	回遊性を高める移動手段が望まれる地域	<ul style="list-style-type: none"> 点在する観光スポットの回遊喚起 坂道等による徒歩の抵抗感を緩和 												
		アメニティ性の高い移動手段が望まれる地域	<ul style="list-style-type: none"> 新規性があり乗ること自体を楽しめる、利用したくなる移動手段 												
環境対策	環境負荷軽減やエネルギー対策が望まれる地域		<ul style="list-style-type: none"> 電動で環境にやさしい移動手段を実現 再生可能エネルギーの活用によりCO2フリーの移動手段を実現 												

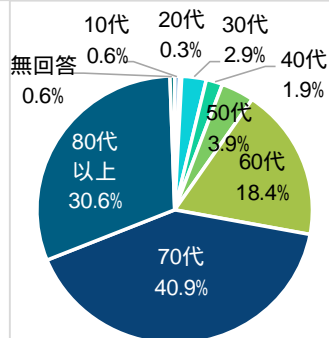
調査結果概要 利用者の概況

生活交通では、9割が60代以上で、約半数の方が運転免許非保有者であった。
 観光交通では様々な年齢層が利用し、免許保持者であっても利用した。
 支払意思額は、生活交通、観光交通ともに5割強が100～200円と回答したが、自由回答からは観光交通のほうが生活交通より少し高めの支払意思額があることが確認された。

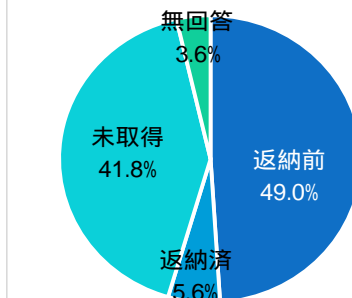
利用者性別



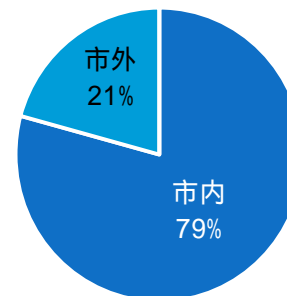
利用者年齢



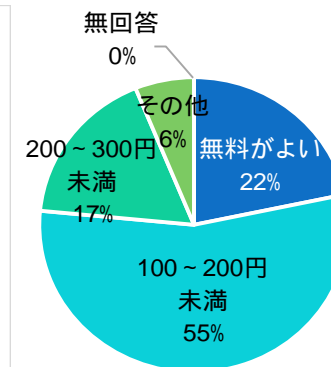
利用者
運転免許取得状況



利用者居住地



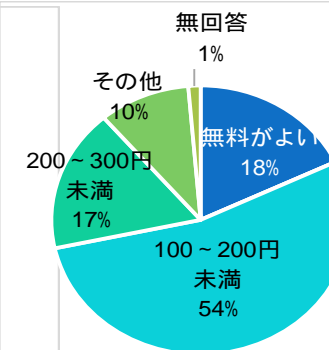
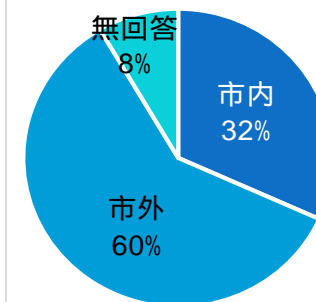
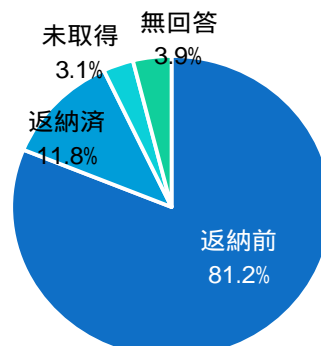
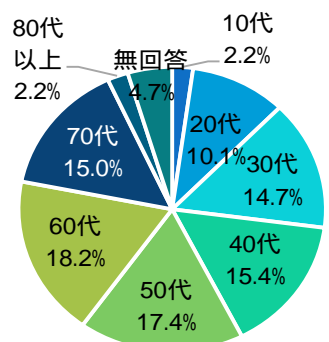
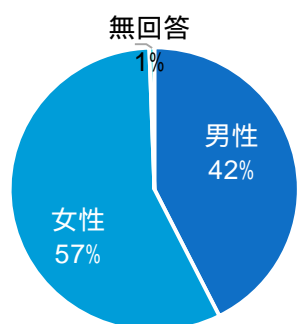
利用者
支払意思額



【生活交通(東員町、備前市、福山市、天草市)】

(東員町と福山市を除く)

【観光交通(いわき市、福山市、天草市)】



(福山市を除く)

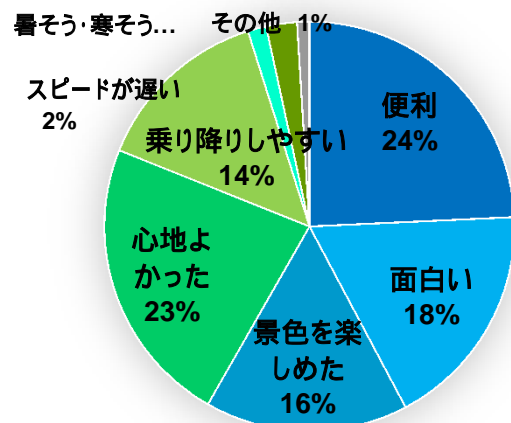
調査結果概要 車両に対する声

便利・面白い・景色を楽しめる・乗り心地が良い、乗り降りしやすいなど、9割以上が好意的に回答しており、全体的にグリスロに対して好評価であった。

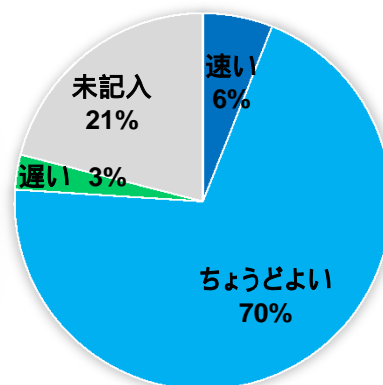
時速20km未満の低速であることについて、7割がちょうどよいと回答した。

一方でオープンであるが故の暑寒対策や、定員が少ないことによる課題が指摘された。

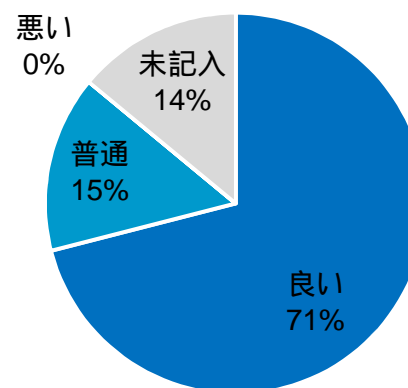
グリスロに乗った感想
(複数回答)



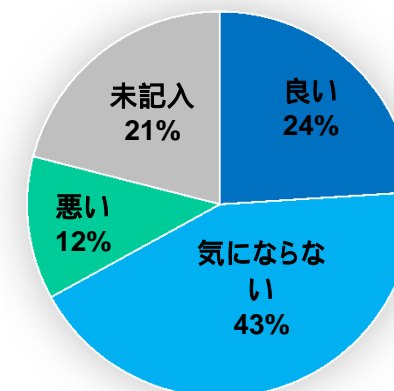
グリスロのスピード



乗り降りのしやすさ



窓がないこと



【好意的な利用者の声】

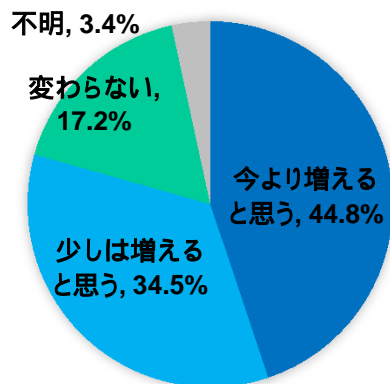
- 車高が低く乗り降りしやすい
- 安心感がある
- 静か、乗り心地が良い
- 景色を楽しめた、開放的
- 便利・面白い
- 移動自体が楽しい
- スピードがちょうど良い
- デザインがかわいい

【課題に関する利用者の声】

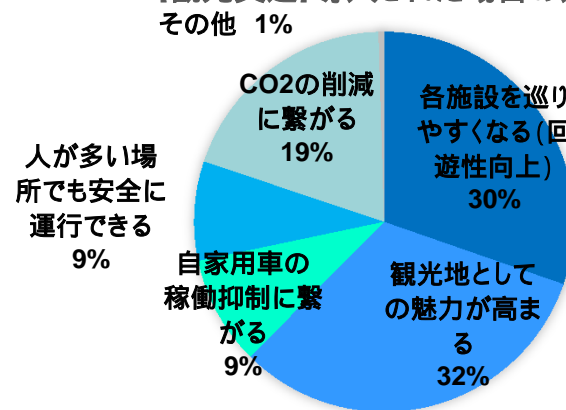
- 暑さ、寒さ対策が必要
- 車両内が常時混雑しており、乗りたいのに乗れなかったりする。
- 客が多いときは前日予約は不向き
- 事故に対する不安
- 道路の凹凸が身体に響く
- 他の車両との速度差が気になる
- 走行音が静かで接近が伝わりにくい

5地区とも利用者の意見は概ね肯定的で、生活の足、外出機会、介護予防、観光など地域課題の解決、地域住民の生活の質の向上に資すると確認された。
 ドライバーとの会話や乗客同士などコミュニケーションに対する高い評価が多かった。
 運転手のモチベーション向上につながると運転手からも運行事業者からも評価された。

【生活交通】導入された場合のお出かけの回数



【観光交通】導入された場合の効果



【利用者の声】

重い荷物を持っていたり、徒歩では遠い距離を移動する際に助かる。
 車内での会話が弾む、外出機会が増える。
 ドライバーとのコミュニケーションに好感がもてる。

【運転手の声】

運転が楽しい。喜んでもらえてやりがいを感じた地域が盛り上がる。地域に役立つと感じられた。
 車内のみならずすれ違う人との挨拶が増えた。
 狭い路地では十分なスピード。

【運行事業者の声】

運転手のモチベーション向上につながる事業化するのであれば有償でやりたい
 需要が増えるとデマンド型では間に合わない
 駐車待機場所に困ることがある

【自治体の声】

生活の質が向上する(外出機会,コミュニケーションツール,介護予防等)
 観光客散策、回遊性確保に有効
 地区の人とのつながりに役立つ
 運行の担い手探しが課題